



日置市立 東市来中学校

生徒数 247 人
学級数 10 クラス



《テーマ》 生徒及び教職員の人権意識を高め、 共感的人間関係を基盤とする自尊感情の醸成

研究に当たって（テーマ設定の理由）	研究スケジュール
「人権教育は全ての教育の基本」であることを再認識することから始め、生徒・教職員・保護者の人権意識及び生徒の自尊感情の高揚に努めることを通じて、自分自身はもちろん他者の人権を尊重できる生徒の育成に、チームで取り組む必要があると考え、本テーマを設定した。	8月1日（月） 職員研修 9月27日（火） 福祉体験学習〔1年生〕 11月11日（金） いのちふれあい体験学習〔2年生〕 11月28日（月） 人権教室〔情報モラル〕 12月8日（木） 人権学習会〔生徒対象〕 2月24日（金） 人権教育講座〔保護者対象〕

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□ 福祉体験学習〔1年生対象〕

日置市社会福祉協議会や障害者支援施設、地域包括支援センター等から講師を招き、障害や認知症等に関する知識・理解を深め、体験学習を通じて、互いの個性や特性を尊重し、共に生きる社会の実現について考え、実践しようとする意識を高めることができた。



【いのちふれあい体験学習】

□ いのちふれあい体験学習〔2年生〕

日置市健康保険課や助産師・保健師を講師として招き、妊娠や出産について知り、妊婦・子育て体験等を通じて、生命の神秘と重要性について深く考えることで、自分自身はもちろん他者の命の重みや保護者・先祖に対する感謝の気持ちをもつことができた。

□ 人権週間〔年2回〕

人権週間の取組として、①差別や人権侵害について考える学習、②本プロジェクトに係る人権学習会、③情報モラル教室等を実施した。また、週間中は毎日給食時間に、生徒会役員が人権に関する制度や詩、作文等の紹介を行い、人権擁護の環境醸成を図った。



【人権教育講座（保護者対象）】

□ 人権教育講座〔保護者対象〕

本プロジェクトの一貫として、講座を実施した。昨今の人権課題、SNS上のいじめを含む人権侵害の防止や子どもの自尊感情を高める声掛け・接し方などについて研修を深めることができた。

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 人権尊重に係る日常的な学習や指導は行ってはきたものの、本プロジェクトによる職員・生徒・保護者を対象とした専門的な研修や講話により、人権教育は教育活動の充実を支える根幹であるという認識を深めることができた。
- 昨年度に比べ、生徒の諸活動に取り組む姿勢に落ち着きや自信が感じられるようになった。また、職員はMomの精神で様々な課題に対応するチーム力が高まった。
- 道徳教育や体験的な人権学習を更に充実させる。また、本校の課題であるSNSや人間関係づくり等における課題解決に努めながら、互いの人権を尊重し合い、世界情勢に対する関心と広い視野をもち、平和な社会の実現に貢献できる生徒の育成に努めたい。